

とさ自由学校ごみ勉強会

令和6年10月16日（水）に、学校法人日吉学園とさ自由学校でごみ勉強会が実施されました。

とさ自由学校ではこれまでに3回川ごみの勉強会を実施しています。今回の勉強会の始めには、先生が昨年の復習の内容を質問し、子どもたちが答える様子が見られました。

今回の勉強会では、ごみの中でも特にプラスチックごみに注目しました。捨てられて川を流れ、海に出て行く過程でどんどん小さくなり、5mm以下になったプラスチックごみをマイクロプラスチックと呼びます。マイクロプラスチックはとても小さいので回収が難しく、海を漂い続けているところを魚が食べてしまい、いずれ私たちもその魚を食べてしまうかもしれないということを学びました。

マイクロプラスチックの小ささを実際に体験するため、事前に先生が集めてきたごみを土や葉っぱの中から探し出す調査を行いました。最初は5mm以上の大きさのごみで調査を行い、終わったグループから順に5mm以下のプラスチックごみの調査に進みました、5mm以上のごみではどんどんごみを見つけられていた子どもたちも、5mm以下のごみと木や葉っぱの欠片の区別に苦戦していました。

調査後に、先生から「みなさんが今探したこの小さなごみを、外の広い場所で全部拾えると思いますか？」と問いかけられると、子どもたちの中から「絶対無理！」という声があがりました。何気ない気持ちでごみを捨てると、ごみとして地球にずっと残ってしまうということを自分の目や手で確認し、ごみはきちんと決まりを守って捨てようと思えた勉強会となりました。

なお、今回のごみ勉強会は株式会社サンプラザの「高知県清流保全パートナーズ協定」事業による寄附金により実施されました。

